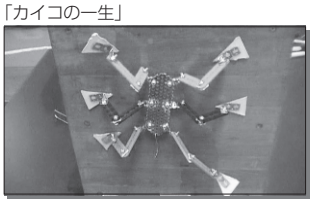
News Clip & AV Material

◈ ニュースクリップ&映像教材

「カイコの一生」


「壁を登る動物の研究Ⅲ」

■第12回「全国こども科学映像祭」入賞作品決定

標記映像祭において、文部科学大臣賞（最優秀作品賞）に、小学生部門「カイコの一生」、同中学生部門は「壁を登る動物の研究Ⅲ」の２作品（**写真**）が決定した。その他の入賞作品については、７頁〈協会情報〉を参照のこと。なお、表彰式・上映会および記念講演会は、平成26年２月９日（日）10:30から、日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6）みらいCANホールにて行われる（参加自由・入場無料）。

研究会情報

■ 第７回情報学シンポジウム「MOOCの拡大：教育の変容を促す大きな流れ」

日本学術会議情報学委員会による標記シンポジウムが開催される。

〈日時〉 平成26年２月26日（水）13:00〜17:40
〈会場〉 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）
〈内容〉 講演「情報通信分野に関連する文部科学省施策の最近動向」下間康行氏（文部科学省研究振興局・参事官（情報担当））、招待講演「科学技術政策の観点からの情報学への期待」久間和生氏（内閣府総合科学技術会議議員）、「JMOOCの創設と今後の活動」白井克彦氏（日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）理事長、放送大学学園理事長）、パネル討論等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.scj.go.jp/ja/event/
〈問い合わせ先〉 第７回情報学シンポジウム実行副委員長　安達淳　MAIL adachi@nii.ac.jp

■ 学校を変革する地域教育ネットワークセミナー

（一社）日本教育工学振興会では、「一人一台児童生徒端末の実現に向けて」をテーマに標記セミナーを開催する。

〈日時〉 平成26年２月21日（金）13:00〜17:00
〈会場〉 Learning Square新橋（東京都港区新橋4-21-3新橋東急ビル6F）
〈対象〉 教育委員会、教員センター、教育研究所、自治体の情報政策関係部門、教職員
〈内容〉 「教育の情報化に関する来年度の施策」（仮）文部科学省生涯学習政策局情報教育課（予定）、「教育の情報化の現状と展望」（仮）山西潤一氏（富山大学教授）、「教育分野におけるICT活用の展望」（仮）総務省情報流通行政局情報通信利用促進課（予定）、パネルディスカッション等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.japet.or.jp/Top/Case/
〈問い合わせ先〉 （一社）日本教育工学振興会
TEL 03-5575-5365

■ 平成25年度CEC成果発表会「教育の情報化」推進フォーラム

（一財）コンピュータ教育推進センター（CEC）

▶協会情報

○第12回「全国こども科学映像祭」入賞作品発表

（一財）日本視聴覚教育協会、（公財）つくば科学万博記念財団、（独）科学技術振興機構、（公財）ニューテクノロジー振興財団主催、文部科学省他後援による標記映像祭は、子どもたちの科学への関心を喚起し、カメラの目を通して科学の楽しさ、素晴らしさを理解させて、子どもたちの“科学する心”を育てることを目的とした、小・中学生が制作する科学ビデオのコンクールである。本年度は、平成26年１月９日に応募を締め切り、１月17日に開かれた審査委員会（審査委員長池本卯典氏（日本獣医生命科学大学学長）他６名）を経て、応募作品26作品（小学生部門16作品・中学生部門10作品）のうち、以下のように入賞作品が決定した（敬称略）。

応募数は例年に比べ少なかったが、作品のレベルはそれぞれに非常に高く、厳しい判断を要する審査となった。

◆文部科学大臣賞（最優秀作品賞）

○小学生部門「カイコの一生」鈴木美南子（静岡県藤枝市立高洲南小学校５年）

○中学生部門「壁を登る動物の研究Ⅲ」東京都八丈町立三原中学校サイエンス部

◆優秀作品賞

○小学生部門「蚕 KAIKO」古知小生き物調べ第２グループ（兵庫県姫路市立古知小学校６年）、「光る貝　ヨコスジタマキビモドキのなぞにせまる！」三原小サイエンスクラブ（東京都八丈町立三原小学校５・６年）

○中学生部門「何色が咲くのかな？アサガオの花世代で受け継ぐ花の色」杉山杏那（愛知県岡崎市立竜海中学校２年）

◆佳作

○小学生部門「にぼしの胃からかんきょうマップ」栃四小にぼっしー（栃木県栃木市立栃木第四小学校５年）

○中学生部門（該当作品無し）

◆特別賞

○小学生部門「モンシロチョウのかんさつ日記」愛宕小学校たんぽぽ・あじさい学級（愛知県岡崎市立愛宕小学校１･３･５年）〈特別支援学級の６名の児童の観察日記に対して〉

○中学生部門　東京都八丈町立三原中学校〈長期にわたり優れた科学映像作品の指導をされている教師とその支援を行う学校に対して〉

では、「スマホ時代の学びと冒険」をテーマに標記フォーラムを開催する。

〈日時〉　平成26年２月28日（金）10:30～18:00、３月１日（土）９:30～14:40

〈会場〉　国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

〈内容〉　特別講演「魔法は一つ」角野栄子氏（童話作家）、基調講演「教育の情報化について」（仮）文部科学省生涯学習政策局情報教育課、総括パネルディスカッション「どうなる！タブレット・スマホ時代」、分科会「つながり依存とは何か？―子どもが落ち込むネットの深淵―」他、ICT夢コンテスト表彰式、企業展示等。詳細は、下記を参照のこと。http://www.cec.or.jp/seika/

〈問い合わせ先〉（一財）コンピュータ教育推進センター　TEL 03-5575-5367

■ 教育シンポジウムin東京2014

（公財）中央教育研究所では、「学力向上　言葉の力を育てる―教科を超えた言語活動の実践と評価―」をテーマに標記シンポジウムを開催する。

〈日時〉　平成26年３月１日（土）13:00～17:00

〈会場〉　文京学院大学女子高等学校ジャシーホール（東京都文京区本駒込6-18-3）

〈内容〉　基調講演「21世紀に求められる資質・能力―教科横断的に言語力を育てるとは―」市川伸一氏（東京大学大学院教授）、実践報告、レクチャー「新学習指導要領における言語活動の充実と授業改善について」橋田裕氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室専門官）、特別講演　外山滋比古氏（英文学者、評論家）等。詳細は、下記を参照のこと。http://www.chu-ken.jp/

〈問い合わせ先〉（公財）中央教育研究所

TEL 03-5390-7488

■ 市民のための著作権講座―基礎からわかる著作権の今―

（公社）著作権情報センターでは、日常生活や業務上の具体例を交えながら、さまざまな場面で役立つ著作権制度の知識について学ぶ標記講座を開催する。

〈日時〉　平成26年２月14日（金）10:40～15:40

〈会場〉　エルガーラホール7F中ホール（福岡市中央区天神1-4-2）

〈内容〉　講義「私たちの生活の中の私的複製と著作権法」土肥一史氏（日本大学大学院教授）、「よ

くわかる！ビジネスと日常生活における著作権基礎知識」金沢淳氏（弁護士）、ビデオ上映。詳細は、下記を参照のこと。http://www.cric.or.jp/seminar/
〈問い合わせ先〉（公社）著作権情報センター
TEL 03-5348-6030

■ **平成25年東京学芸大学・道徳教育フォーラム**

東京学芸大学では、「生きる力を輝かせる　これからの心の教育・道徳教育」をテーマに標記フォーラムを開催する。
〈日時〉 平成26年２月14日（金）13:30～16:50
〈会場〉 東京学芸大学南講義棟（Ｓ棟）4F（S410教室）（東京都小金井市貫井北町4-1-1）
〈内容〉 成果報告「『総合的道徳教育のプログラム』の成果とこれから」、シンポジウム「新しい道徳教育をどう進めるか―道徳『教科化』時代に求められるもの―」、実施報告、調査報告、意見交流等。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.u-gakugei.ac.jp/~kokoro/
〈問い合わせ先〉 東京学芸大学学務部学務課総合的道徳教育プログラム推進プロジェクト
TEL 042-329-7190

学会情報

■ **日本教育メディア学会第２回研究会**

日本教育メディア学会では、「ICTと授業設計・学習支援／一般」をテーマに標記研究会を開催する。
〈日時〉 平成26年３月15日（土）13:00～16:00
〈会場〉 岩手県立大学アイーナキャンパス（岩手県盛岡市西通1-7-1）
〈内容〉 ICTの特性を踏まえながら、授業での有効活用について、また、どのように学習環境を整備していけばよいのかを考える。詳細は、下記を参照のこと。http://jaems.jp/meeting/
〈問い合わせ先〉 岩手県立大学　市川尚
MAIL ichikawa@iwate-pu.ac.jp

■ **日本アーカイブズ学会2013年度第２回研究集会**

日本アーカイブズ学会では、「地域の中の学校資料とアーカイブズ」をテーマに標記研究集会を開催する。
〈日時〉 平成26年２月15日（土）13:30～16:40
〈会場〉 キャンパスポート大阪ルームＤ・Ｅ（大阪市北区梅田1-2-2-400大阪駅前第２ビル4F）
〈内容〉 発表「学校アーカイブズの地域保存と住民利用」嶋田典人氏（香川県立文書館）、「尼崎における学校資料とレファレンス」城戸八千代氏・三浦寿代氏（尼崎市立地域研究資料館）、学校資料の位置づけ、そのアーカイブズとしての役割、地域とのつながりについての議論。詳細は、下記を参照のこと。http://www.jsas.info/
〈問い合わせ先〉 日本アーカイブズ学会
MAIL office@jsas.info

■ **情報処理学会第76回全国大会**

情報処理学会では、「今、世界ナンバー１へのチャレンジ」をテーマに標記大会を開催する。
〈日程〉 平成26年３月11日（火）～13日（木）
〈会場〉 東京電機大学東京千住キャンパス（東京都足立区千住旭町５）
〈内容〉 招待講演企画、基調講演のほか、「教育システム・行動分析」「コンピュータと教育」「プログラミング教育」「タブレットと教師」「教育におけるネットワークとデバイス」「特別支援教育・一般」「教育システム・データ解析」「生徒・学生の行動」「単元教育支援」など1,400件の一般セッション、学生セッション、展示会等。
詳細は、下記を参照のこと。
http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/76/index.html
〈問い合わせ先〉 情報処理学会事業部門
TEL 03-3518-8373

文部科学省選定作品

■12月選定　紙紙しばい／ビビデオ／DDVD

「ばけこちゃんのおしょうがつ」紙８枚〈幼稚園／幼児、教養〉（株）童心社

「サンポじいさんの　いし」紙12枚〈幼稚園・小学校低学年／幼児、教養〉（株）童心社

「ことばの暴力～心を傷つけたひと言～」D20分〈小学校高学年、道徳〉（有）鹿児島文化企画

「僕がジョンと呼ばれるまで」D82分〈小学校高学年、道徳／中学校、道徳／高等学校、福祉／少年・青年・成人、国民生活（高齢社会）〉（株）仙台放送

「悩まずアタック！―脱・いじめのスパイラル―」D33分〈中学校、特別活動／少年、地域社会生活（人権）〉（株）映学社

「あなたの運転再チェック！～危険です、しているつもりの安全運転～」D40分〈青年・成人、地域社会生活（交通安全・防犯）〉（有）斉藤プロダクション

「ヒーロー」D34分〈少年・青年・成人、地域社

▶文部科学省情報

平成26年度情報教育課予算（案）について

文部科学省生涯学習政策局情報教育課課長補佐　西條　英吾

平成26年度の文科関係予算（案）のポイントとしては、少子高齢化等の社会構造の変化に対応しながら、世界トップレベルの学力と人間力を備えた我が国の将来を担う次世代の育成こそが国づくりの礎であり、第２期教育振興基本計画等に基づき世界トップレベルの学力、規範意識、歴史や文化を尊重する態度を育むため「教育再生」を実行することとしている。

情報教育課では、児童生徒の確かな学力の育成を図るため、ICTを活用した教育の効果や指導方法に関する研究、地域における先導的な教育体制の構築に資する研究を実施するとともに、デジタルコンテンツの充実や利用を促進するなど、教育の情報化を推進するために必要な経費を盛り込んでいる。

文部科学省所管一般会計予算（案）は、対前年度比0.1％増の５兆3,627億円。情報教育課にかかる内容は以下の通り。

１．情報通信技術を活用した教育振興事業【新規】（288百万円）

ICTを活用した教育の推進を図る上で、教育効果の明確化、効果的な指導方法の開発、教員のICT活用指導力の向上方法の確立が不可欠であり、これらの課題を解決するため実証研究を行うとともに、デジタル教材等の充実や、児童生徒の情報活用能力に関する調査研究等を実施する。

２．先導的な教育体制構築事業【新規】（122百万円）

総務省との連携の下、各地域においてICTを活用し、学校間、学校・家庭が連携した新しい学びを推進するための指導方法の開発、教材や指導事例等の共有など、先導的な教育体制の構築に資する研究を実施する。

３．教育用コンテンツ奨励事業【拡充】（32百万円）

教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育映像等審査の対象に、新たにデジタルコンテンツを追加し、デジタルコンテンツ作品の普及、利用を促進する。

平成26年度情報教育課予算（案）一覧　（単位：千円）

事業名	平成25年度予算額	平成26年度概算要求・要望額	比較増減
情報通信技術を活用した教育振興事業（新規）	0	287,655	287,655
先導的な教育体制構築事業（新規）	0	122,274	122,274
教育用コンテンツ奨励事業（拡充）	18,368	31,696	13,328
計	18,368	441,625	423,257

会生活（社会の連帯）〉東映（株）
映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/ａ_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

放送番組

「ティーンズプロジェクト　フレ☆フレ」

Ｅテレ（土）17:55～18:25再放送（土）０:15～０:45※都合により番組内容変更有。
〈２月のテーマから〉○「沖縄・アイスホッケー女子の熱い冬―小学生には負けられないサー！―」○「みんなでドッジするばい―弱小　小学生チームの反撃―」○「アニメ制作プロジェクト」
番組詳細は、下記を参照のこと。
http://www.nhk.or.jp/teens/

短信

■一般財団法人コンピュータ教育推進センターは、平成26年１月18日に下記の新事務所に移転した。
〒107-0052　東京都港区赤坂1-9-13三会堂ビル8F　TEL 03-5575-5367　FAX 03-5575-5366